基幹システム再構築プロジェクト推進者養成講座【会場】（4126167）

基幹システムのブラックボックス化は深刻な問題です。その1つの解を提供することを目的とし、データとプロセスの2つの面から再構築の方法論を提示します。DX時代の基幹系アーキテクチャのあるべき像、さらに現行再現と新要件策定部分を明らかにします。

開催日時	2026年5月28日(木) 10:00-17:00会場※終了後30分間会議室で懇親会 2026年5月29日(金) 10:00-17:00会場 2026年6月11日(木) 10:00-17:00会場※終了後30分間会議室で懇親会 2026年6月12日(金) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(レガシーシステム再構築)
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 専門スキル
講師	中山嘉之 氏 （株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン（現：協和キリン）情報システム部長 ） 1982年より協和発酵工業（現・協和キリン）の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。 天羽正道 氏 （フリーランスITアーキテクト ） 元日本アイ・ビー・エム株式会社エグゼクティブアーキテクト チーフアーキテクトとして様々な環境でのビジネス・アプリケーションの開発をリード。現在、アーキテクチャ策定支援などに従事。
参加費	JUAS会員企業/ITC：137,500円 一般：176,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数4枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F）
対象	基幹系システムの再構築の構想策定やDXのための基幹系のモダナイゼーション戦略の作成に関与される方 ※全日程にご参加いただける方 コース 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	４回通して受講できる方 ・アプリケーションの設計・開発の経験３年程度 ・もしくはインフラの設計・導入の経験３年程度
ITCA認定時間	24

主な内容

■受講形態
会場のみ（オンラインなし）
■テキスト
当日配布
■開催日までの課題事項
特になし

基幹システムのブラックボックス化は深刻な問題です。
DX推進の上でも、既存システムを刷新しブラックボックス状態を解消することが求められており、
基幹システムの再構築は避けて通れないといえます。
ではどのように、どのような方法で再構築を進めたらよいのでしょうか。
本講座はその1つの解を提供することを目的とし、データとプロセスの2つの面から再構築の方法論を提示します。
DX時代の基幹系アーキテクチャのあるべき像、さらに現行再現と新要件策定部分を明らかにします。
現行再現部分については、構造刷新（リファクタリング）をするという段階的な開発プロセスを提案しています。

＜受講者の声＞
・基幹システム再構築に際して、どのように進めていくかわからない中、1つの方法を学べてよかった。
概念モデルによりビジネスを理解して、データを正しくとらえることが重要だと思った。
・改めてEAの重要性、特にデータ（DA）観点での見直しを行うことが基幹系システム再構築に有効なことと認識した。
・業務に密着しており、わかりやすかった。MDMの必要性、重要性を理解できた。
・リファクタリングを体系立てて、演習を交え理解できたのは有意義であった。
対話型AIも高度に活用されていて、参考にしようと思う。
・自身の業務では、ウォーターフォール型の開発をメインに行っているが、アジャイル型の開発について学習でき、
開発プロセスを検討する上で非常にためになった。また、リファクタリングによる保守性向上によって自社だけ
ではなく顧客の利益にもつながると思ったので持ち帰って業務に活かしていきたい。
・部下、同僚に受講を勧めたいです。非常に有意義だった。

Day1　はじめにエンタープライズ・データモデリングありき

＜講師＞
中山嘉之氏

＜主な内容＞
1　再構築の課題と対応策
2　都市計画型モダナイゼーション
3　エンタープライズ・データモデリング
4　ビジネスを表すデータモデル図
5　全社アプリケーション鳥瞰図
6　データセントリックアーキテクチャ
演習：エンタープライズ概念データモデルの作成

※終了後30分間会議室で懇親会を行います。

Day2　データHUB活用した疎結合アーキテクチャへの転換

＜講師＞
中山嘉之氏

＜主な内容＞
1　データHUBの設計手順
2　マスターデータHUB
3　トランザクションデータHUB
4　データHUBによる分割移行
5　カタログによるシステムの可視化
6　アーキテクチャ管理室の設置
演習：データHUB連携図の作成

Day3　ストリーム化再構築プロセス

＜講師＞
天羽正道氏

＜主な内容＞
1　プロセスの課題
2　再構築プロセス概要
3　現行再現ストリーム
4　リファクタリングストリーム
5　新要件定義ストリーム
6　新要件実装ストリーム
演習：再構築プロセスの検討練習

※終了後30分間会議室で懇親会を行います。

Day4　リファクタリングのセオリーと勘所

＜講師＞
天羽正道氏

＜主な内容＞
1　リファクタリングする理由
2　凝集度、結合度
3　良い設計、悪い設計
4　設計手法の使いこなし
5　リファクタリング
演習：悪い設計を良い設計に変える